

行政視察報告書

平成29年2月9日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 徳清会

議員 栗尾順三
議員 馬越裕正
議員 仁科文秀



議員 森岡聰子
議員 東川三郎
議員 大山盛久



下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

行程

- 1月30日 移動
- 1月31日 阿久根市「市政運営における議会对応」について
- 2月 1日 中津市「議会改革の取り組み」について

【1】鹿児島県阿久根市

住 所	阿久根市鶴見町 200 番地
電 話	0996-73-1211
視察案件	市政運営における議会对応について
期 日	平成29年1月31日 (9時30分~11時00分)
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	阿久根市役所
概 要	●視察目的・・・専決処分と議会軽視を繰り返し、全国的にも大きな話題となった、竹原前市長の市政運営について問い、その後の取り組みを聴くと

	ともに、笠岡市議会、笠岡市政への参考とする。
	<p>●平成 20 年 8 月に当選した竹原前市長は、市民に対し、職員の給料がいかにか高いか、年間を通して仕事をするわけでもない議員の報酬がいかにかもらいすぎかなど、パフォーマンスともいえる言動で市民に訴えた。その背景には主要な産業が漁業と農業であり、平均収入が決して高くない阿久根市の状況があったのではないかと推察される。</p> <p>そのために、職員の人件費の減額、議員報酬の日当制などを推し進めようとし、当然に議会の反対が予測される議案については専決処分を繰り返した。副市長の専任、一般会計補正予算まで専決処分になり、その後、就任の 1 年半後に、住民から市長解職の住民投票請求が提出されるに及んでいる。</p> <p>そして、市長解職の住民投票では、7543 対 7145 の僅差とはいえ、賛成多数で市長失職。さらに、市長が選任した副市長が職務代理者になり、またもや補正予算を専決処分するなど、平成 23 年 1 月までは、市政・議会が混迷を極めている。</p> <p>そして、現在の西平市長になって、やっと落ち着いた市政運営が可能になっている。視察の前夜、西平市長に偶然お会いしたが、常識をわきまえた若手の市長であると感じた。</p> <p>●視察では、反竹原氏である、現在の議長と副議長がおもに説明をされた。説明から、当時はいかにたいへんであったかが十分にうかがえた。現在は議員 16 名、そのうちには、前市長の竹原氏とその妹もいる。また、竹原派と思われる議員も 2 名いるとのことであったが、大きな混乱はない。しかし、竹原氏が市民迎合的であり、市全体の福祉、発展を考えて行動する人でないため、危機感はある。次回の市長選挙への出馬もありうるという。</p> <p>●数年前にマスコミを賑わせた前市長の言動はたいへん偏っていることがわかった。議会へ提出しても賛成が得られそうにないもの、議論を呼ぶものについては専決処分にするなど、反議会・反市民の行動が続いていた。</p> <p>本市においては、そのようなことはないと思いたい、何より笠岡のことを第一に考えた、市民ファーストの市政運営、議会運営が必須である。</p>
	視察資料 視察状況写真 名刺

【2】大分県中津市

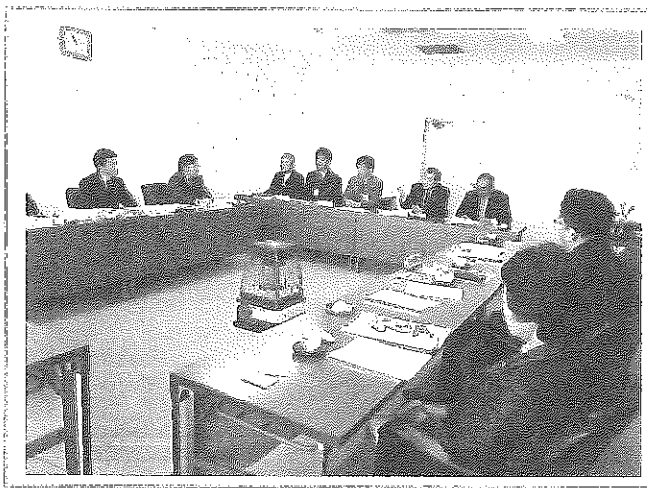
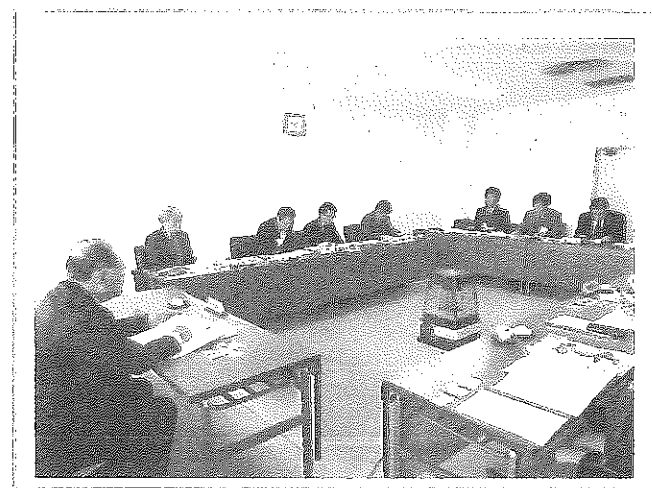
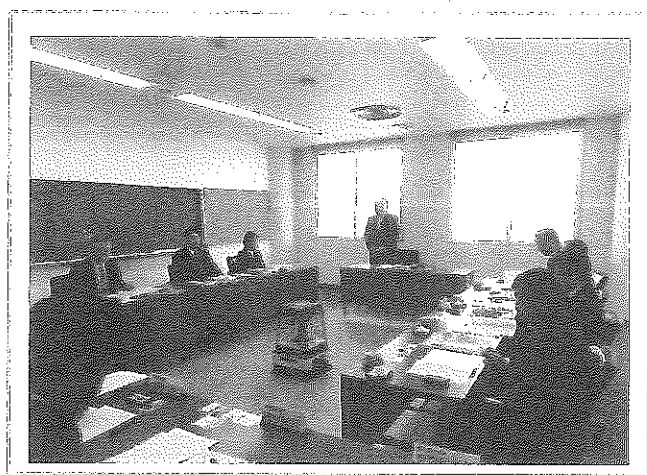
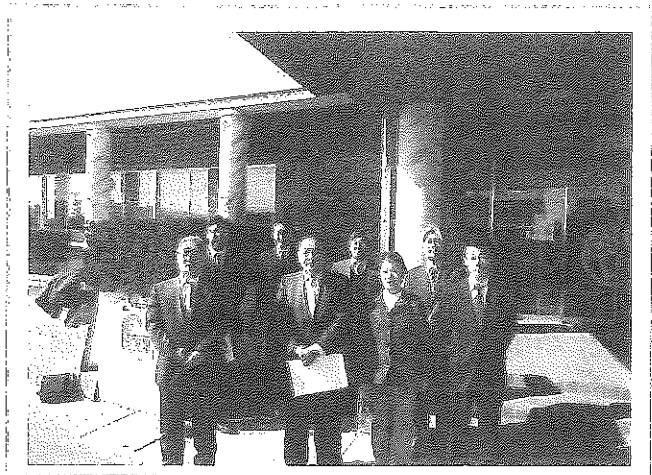
住 所	中津市豊田町 14 番地 3
電 話	0 9 7 9 - 2 2 - 1 1 1 1
視察案件	議会改革の取り組みについて
期 日	平成 2 9 年 2 月 1 日 (9 時 3 0 分 ~ 1 1 時 0 0 分)
応 対 者	別紙名刺の通り
視察状況	別紙写真の通り
訪問施設	中津市役所

概 要	<p>●視察目的・・・とくに議員間討議・自由討議について先進的な取り組みをしている中津市議会の状況を詳しく聴き、笠岡市議会改革の参考にする。</p>
	<p>●中津市は、平成 23 年に議会改革マニフェストを策定するなど、議会の改革に積極的であり、多くの取り組みを実施している。その中でも、議員間の自由討議については、多くの自治体で必要性が高いものの、なかなか実現できておらず、関心があった。</p> <p>●自由討議について 平成 23 年 12 月に初めての自由討議を行っており、平成 28 年までに 18 回の討議を行っていることは驚異的だ。一般質問などで取り上げたテーマのうち、議会運営委員会で協議し、過半数での議決で案件（テーマ）が決まる。本会議で全員の議員が出席時に最長 50 分の自由討議に入る。案件を提案した議員が演壇で補足説明をし、質問・意見を出し合う自由討議が始まる。決議案を上程するかどうかも諮り、最終的に執行部への政策提言（決議）もあるという。</p> <p>議員、とくに案件提出議員はしっかりとそのテーマについて勉強しておく必要がある。議会事務局によると、議員は自分でインターネットで調べたり執行部に聴取に行ったりして、事務局に調べてほしいということは多くないという。本会議で行う以外に委員会でも実施している。</p> <p>笠岡で取り入れるとすれば、まず委員会で実施しながら、本会議への可能性を探ることになるのではないかと思った。議員の勉強も必要である。</p> <p>●議会改革マニフェストについて 二元代表制の確立をめざし、</p> <p>① 開かれた信頼のある議会 ② 行動する議会 ③ 創る議会 の 3 つを柱として具体的な取り組みを行っている。</p> <p>① では、インターネット配信、政治倫理条例の見直し など ② では、各種団体との意見交換会、政策研究会の設置など ⇒議会として、「議長が記者会見をする」というのは目新しい。 各種団体との意見交換会では、議場において実施したり、公民館などへ出向いて常任委員会ごとにワークショップをしたりと積極的。 また、会派を超えて任意の研究会を立ち上げ、市が抱える諸課題について、研究テーマを設け、意見交換・調査をするなど。会費をとって視察にも行くという。</p> <p>③ では、議員間討議、質問・質疑の充実、議会運営委員会の充実など ⇒「学校教育施設の建て替え計画の策定を求める決議」「学校トイレの早期改修を求める決議」「被災した中小企業者に対する支援拡充を求める決議」などを議会の機関意思として提出し、実現に結びつけたという。</p>

	<p>●中津市議会のような取り組みをするためには、定例議会以外も市民のために議会として頻繁に活動する覚悟が必要であり、議員報酬以上の仕事をするくらいの決意が必要である。笠岡市議会においては、まずは議員間の自由討議の導入を実施して議論と情報共有を深めるところからスタートしたい。</p> <p>●このほかに私が参考になったこと</p> <p>①市内高校 5校の高校生との意見交換会をワークショップ形式で実施 それを踏まえて「ふるさと中津の創生に向けた次代を担う高校生の提言」が答申されたこと。</p> <p>②ワークショップを数多く実施するために、進行をし、まとめるファシリテーションスキルを議員が勉強し、会得していること。</p>
添付書類	視察資料、視察状況写真、名刺

阿久根市役所

議長、副議長、事務局など5名の対応が1時間半あり、竹原前市長当時の状況、その後の議会運営など、細かく説明があった。



特徴的な阿久根駅および駅舎内



中津市役所

議会改革、とくに自由討議についての説明を議長や推進してきた議員から受けた。積極的な取り組みをされている。

